

検討会の概要

令和6年5月20日

検討会の目的と検討項目

1. 目的

○国際クルーズが本格再開して2年目となり、外国クルーズ船の寄港回数2,000回を超えること等の観光立国推進基本計画の目標達成のためには、クルーズ旅客の満足度を向上させリピート寄港を含めた寄港誘致の取り組みが重要である。

このため、クルーズ船寄港時の円滑かつ安全な乗下船及び二次交通への移動が課題となっている。

○そこで、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上に向け、クルーズ旅客受入施設を港湾管理者等が整備する際の活用を想定した、「クルーズ旅客の受入機能高度化に関するガイドライン（仮称）（以下、「ガイドライン」）」を策定する。

○また、バス・タクシー不足の中で、二次交通手段としての小型船利用促進が課題であることから、小型船とクルーズ船間の円滑かつ安全な旅客移動に向け、クルーズ旅客受入施設の適正な配置等に関して、現地実証を行い、同ガイドラインに反映する。

2. 検討項目

- ①クルーズターミナルが有る場合の旅客動線のあり方
- ②クルーズターミナルが無い場合の旅客動線のあり方
- ③二次交通としての小型船利用促進に向けた旅客動線の在り方
- ④クルーズ旅客の円滑かつ安全な受入機能及び必要な施設

3. スケジュール

令和6年5月20日

- 第1回検討会
- ・検討会の目的、スケジュール
 - ・クルーズを取り巻く状況
 - ・我が国のクルーズターミナルの現状

令和6年7月～8月

- 第2回検討会
- ・現地実証実施結果報告
 - ・クルーズ旅客の利便性や安全性の向上に向けた受入機能のあり方
 - ・ガイドライン骨子(案)

令和6年12月～令和7年1月

- 第3回検討会
- ・ガイドライン(案)

年度内 ガイドラインの公表

※WGを設置し、適宜開催